後期実施計画（令和３年度～令和７年度）　施策評価シート

１．基本情報

基本目標	3	誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり	担当部	町民生活部
基本施策	2	総合的な環境対策の推進		
単位施策名称	3	資源循環による環境負荷の低減		
施策の方向性	●ごみを適正に処理するため、分別・収集・処分までの効率的な仕組みづくりを推進します。			

２．施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	家庭系普通ごみの分別率	%	目標値		76.9	79.1	81.3	83.2	85.3
			実績値	74.4	74.4	63.9	66.1	65.7	68.7
			達成状況		未達成	未達成	未達成	未達成	未達成
2	事業系普通ごみの分別率	%	目標値		63.5	66.5	69.4	72.2	75.3
			実績値	60.3	64.1	57.2	66.6	61.6	56.8
			達成状況		達成	未達成	未達成	未達成	未達成
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

３．評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3	適正な分別による資源化の推進を図るため、住民に対して広報紙、ホームページ、ごみ分別アプリ等で周知啓発を行いました。雑がみ分別の普及啓発や食品ロス対策などについて、出前講座や環境イベント等による家庭での取り組みにつながりやすい情報発信が行えていません。また、事業者に対しては、平成30年度のリサイクル等のガイドブック配布以降、資源化推進に効果的な取組みができていません。
R4	適正な分別による資源化の推進を図るため、住民に対して広報紙、ホームページ、ごみ分別アプリ等で周知啓発を行いました。雑がみ分別の普及啓発や食品ロス対策などについて、まだまだ情報発信が十分とは言えません。また、事業者に対しては、平成30年度のリサイクル等のガイドブック配布以降、資源化推進に効果的な取組みができていません。
R5	前年度より数値に改善が見られるものの、家庭系・事業系ともに目標未達となりました。 ともに厨芥類と紙類の混入が多いため、これらの対策が求められます。
R6	家庭系・事業系ともに目標未達となりました。 家庭系ごみでは、厨芥類及び紙類の混入が依然として多く、これらの適正分別に向けた対策が必要です。 事業系ごみでは、紙類の混入は減少したものの、厨芥類の混入が増加しており、特に手付かずの食料品の割合が増加していることから、発生抑制を含めた対策が求められます。
R7	家庭系・事業系ともに目標未達となりました。 家庭系ごみ、事業系ごみともに厨芥類と紙類の混入が多くなっており、これらの適正分別に向けた対策が必要です。

・評価及び対応方針

R3	事業系普通ごみは目標を達成したものの、家庭系、事業系とともに厨芥類及び紙類の割合が高く、手付かず食料品の削減などの食品ロス対策や雑がみ分別の普及啓発をはじめ紙類の適正分別の啓発を継続します。また、調査にあたり家庭系は試料を直接搬入ごみとしたことから、一時多量ごみなど特徴的なごみが含まれたため、今後は試料を収集ごみへ見直すなど調査方法の精度を上げるよう検討します。
R4	家庭系普通ごみ、事業系普通ごみともに目標値を達成できませんでした。家庭系、事業系ともに厨芥類と紙類が多いため、厨芥類は家庭における「3きり（水きり、使いきり、食べきり）」と事業者の食品ロス対策の推進に取り組み、資源化できる紙類、特に雑がみは、適正分別の推進のための一層の周知を図り、事業者にはリサイクルルートの確立など資源化の働きかけを行います。なお、調査にあたり家庭系は試料をごみステーションの廃棄物に変更し、実情に即した調査に見直しました。
R5 R6	厨芥類は、家庭における3きりと事業者の食品ロス対策の推進に取り組みます。 紙類は、家庭における適正分別の一層の周知を図るとともに、事業者にはリサイクルルートの確立など資源化の働きかけを行います。
R7	厨芥類は、特に手付かずの食料品の削減に向け、家庭における3きりと事業者の食品ロス削減の推進に取り組みます。紙類については、分別可能な品目が含まれているため、各家庭、各事業所における適正分別の定着に向けた普及啓発に取り組みます。

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）　　（単位:千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	R6	R7	計
1	廃棄物適正処理推進事業	770	3,855	1,759	1,253	4,955	12,592
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
合計		770	3,855	1,759	1,253	4,955	12,592

後期実施計画（令和３年度～令和７年度）　事務事業評価シート

１．基本情報

総合戦略	

事務事業の名称	廃棄物適正処理推進事業	事業番号	323101
担当部署名	町民生活部　　環境課		
政策体系			
基本目標	3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	2 総合的な環境対策の推進		
単位施策	3 資源循環による環境負荷の低減		

２．活動実績

年度	活動実績
R3	○ 一般廃棄物組成調査を行いました。 ○ 廃棄物の減量や3Rに関する情報を発信しました。 ○ 資源循環による環境負荷の低減のため、ごみ出しのルール等、減量化、資源化、適正な処理の方法等について、ごみ出しに関する冊子の全戸配布や広報紙、ホームページ、スマートフォンアプリに関連記事を掲載するなど情報発信に取り組みました。
R4	○ ごみ処理基本計画の改定を行いました。 ○ 一般廃棄物組成調査を行いました。 ○ 廃棄物の減量や3Rに関する情報を発信しました。 ○ 資源循環による環境負荷の低減のため、ごみ出しのルール等、減量化、資源化、適正な処理の方法等について、ごみ出しに関する冊子の全戸配布や広報紙、ホームページ、スマートフォンアプリに関連記事を掲載するなど情報発信に取り組みました。
R5	○ 一般廃棄物組成調査を行いました。 ○ 廃棄物の減量や3Rに関する情報を発信しました。
R6	○ 集団回収の推進及び資源回収拠点拡大のため、町内会の資源回収ボックスの設置に係り、連携・支援を行いました。 ○ 一般廃棄物組成調査を行いました。 ○ 廃棄物の減量や3Rに関する情報を発信しました。
R7	○ 第2次ごみ処理基本計画を策定しました。 ○ 一般廃棄物組成調査を行いました。 ○ 廃棄物の減量や3Rに関する情報を発信しました。

３．事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	情報発信回数	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	24	25	31	43	36
			達成状況	達成	達成	達成	達成	達成
②	ごみ処理基本計画の改訂	%	目標値	－	100	－	－	－
			実績値	－	100	－	－	
			達成状況	－	達成	－	－	
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		①廃棄物の減量化・資源化が目的のため、情報発信回数を指標としました。②計画改訂が目的のため、計画の改訂を指標としました。						

４．コスト情報（決算）

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
R3	770	0	385	0	0	385
R4	3,855	0	0	0	0	3,855
R5	1,759	0	440	0	825	494
R6	1,253	0	594	0	0	659
R7	4,955	0	665	0	0	4,290
合計	12,592	0	2,084	0	825	9,683

5．評価と対応方針（各課評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
R3	一般廃棄物組成調査を実施しました。 廃棄物の減量や3Rに関する情報発信回数については目標を達成しました。
R4	ごみ処理基本計画の改定及び一般廃棄物組成調査を実施しました。 廃棄物の減量や3Rに関する情報発信回数については目標を達成しました。
R5	一般廃棄物組成調査を実施しました。 廃棄物の減量や3Rに関する情報発信回数については目標を達成しました。
R6	町内会の資源回収ボックス設置に対する支援や一般廃棄物組成調査を実施しました。 廃棄物の減量や3Rに関する情報発信回数については目標を達成しました。
R7	第2次ごみ処理基本計画を策定しました。 一般廃棄物組成調査を実施しました。 廃棄物の減量や3Rに関する情報発信回数については目標を達成しました。

・評価及び対応方針

R3	一般廃棄物組成調査を引き続き実施し、分析・検討を進め、廃棄物の減量や資源化を進めていきます。ただ組成調査の方法については、精度を上げるべく検討していきます。 廃棄物の減量や3Rに関する情報発信を着実に実施し、意識啓発を更に進めていきます。
R4	一般廃棄物組成調査を引き続き実施し、分析・検討を進め、廃棄物の減量や資源化を進めていきます。組成調査の方法については、家庭系普通ごみの試料をごみステーションの廃棄物に変更し、実情に即した調査に見直しました。廃棄物の減量や3Rに関する情報発信を着実に実施し、意識啓発を更に進めていきます。
R5	一般廃棄物組成調査を引き続き実施し、分析・検討を進め、廃棄物の減量や資源化を進めていきます。 廃棄物の減量や3Rに関する情報発信を着実に実施し、意識啓発を更に進めていきます。
R6	一般廃棄物組成調査を引き続き実施し、分析・検討を進め、廃棄物の減量や資源化を進めていきます。 廃棄物の減量や3Rに関する情報発信を着実に実施し、意識啓発を更に進めていきます。
R7	一般廃棄物組成調査は隔年・年2回（夏・冬）の実施に変更します。夏季と冬季の組成を比較・分析することで、季節変動を踏まえた排出実態を把握し、より実効性の高い廃棄物の減量や資源化施策の推進につなげます。 廃棄物の減量や3Rに関する情報発信を着実に実施し、意識啓発を更に進めていきます。

6．評価と対応方針（各部評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
R3	一般廃棄物組成調査を実施しました。 廃棄物の減量や3Rに関する情報発信回数については目標を達成しました。
R4	ごみ処理基本計画の改定及び一般廃棄物組成調査を実施しました。 廃棄物の減量や3Rに関する情報発信回数については目標を達成しました。
R5	一般廃棄物組成調査を実施しました。 廃棄物の減量や3Rに関する情報発信回数については目標を達成しました。
R6	町内会の資源回収ボックス設置に対する支援や一般廃棄物組成調査を実施しました。 廃棄物の減量や3Rに関する情報発信回数については目標を達成しました。
R7	第2次ごみ処理基本計画を策定しました。 一般廃棄物組成調査を実施しました。 廃棄物の減量や3Rに関する情報発信回数については目標を達成しました。

・評価及び対応方針

R3	一般廃棄物組成調査を引き続き実施し、分析・検討を進め、廃棄物の減量や資源化を進めていきます。 廃棄物の減量や3Rに関する情報発信を着実に実施し、意識啓発を更に進めていきます。
R4	一般廃棄物組成調査を引き続き実施し、分析・検討を進め、廃棄物の減量や資源化を進めていきます。 廃棄物の減量や3Rに関する情報発信を着実に実施し、意識啓発を更に進めていきます。
R5	一般廃棄物組成調査を引き続き実施し、分析・検討を進め、廃棄物の減量や資源化を進めていきます。 廃棄物の減量や3Rに関する情報発信を着実に実施し、意識啓発を更に進めていきます。
R6	一般廃棄物組成調査を引き続き実施し、分析・検討を進め、廃棄物の減量や資源化を進めていきます。 廃棄物の減量や3Rに関する情報発信を着実に実施し、意識啓発を更に進めていきます。
R7	一般廃棄物組成調査は隔年・年2回（夏・冬）の実施に変更します。夏季と冬季の組成を比較・分析することで、季節変動を踏まえた排出実態を把握し、より実効性の高い廃棄物の減量や資源化施策の推進につなげます。 廃棄物の減量や3Rに関する情報発信を着実に実施し、意識啓発を更に進めていきます。